



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月9日

上場会社名 株式会社エスコロー・エージェント・ジャパン

上場取引所 東

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 成宮 正一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部担当 執行役員 (氏名) 太田 昌景

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 2021年7月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	785	9.5	141	20.4	144	19.3	94	17.6
2021年2月期第1四半期	868	5.6	177	65.3	178	65.6	114	54.9

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 94百万円 (17.2%) 2021年2月期第1四半期 114百万円 (54.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	2.18	
2021年2月期第1四半期	2.81	2.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	3,575	3,076	86.0	70.99
2021年2月期	3,820	3,155	82.6	72.80

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 3,076百万円 2021年2月期 3,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		4.00	4.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,554	1.6	134	53.0	136	59.5	71	67.8	1.65
通期	3,517	14.5	500	1.6	502	8.5	336	7.6	7.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	45,630,483 株	2021年2月期	45,630,483 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	2,294,135 株	2021年2月期	2,293,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	43,336,548 株	2021年2月期1Q	40,812,571 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年5月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、自宅内消費関連は堅調となった一方で、インバウンド需要の減少や、外出自粛・営業時間の短縮などの経済活動の抑制により個人消費関連は低水準で推移し、業種により景況感に温度差が生じました。当面の景気動向は、感染状況に伴う下振れリスクを抱えて、依然として先行き不透明な状況が続くことが予想されています。

一方でワクチン接種の開始による経済活動の正常化に向けた動きが期待されるほか、テレワークの拡大による住宅ニーズの高まりや個人のインターネットバンキングの利用促進など、新しい生活様式に対応した需要が拡大しております。また、キャッシュレス化の急速な進展、ビッグデータ活用によるデジタル革新など社会環境が大きく変化し、金融機関をはじめとする様々な業界で、人を介さない非対面チャネルでの対応が多くの取引で技術的に可能となっております。

こうしたなか、当第1四半期連結累計期間においては、不動産事業者向け非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」の受注件数が増加いたしました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う消費マインドの落ち込みや営業活動の制約による影響等があったことで、不動産オークション事業が前期に引き続き低調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は785,681千円（前年同期比9.5%減）、営業利益は141,207千円（前年同期比20.4%減）、経常利益は144,409千円（前年同期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94,514千円（前年同期比17.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業においては、士業専門家、金融機関、不動産事業者に対し、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与する各種支援システム等により、業務の効率化を支援しております。また連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託における信託サービス、相続手続き代行サービスでは決済の安全確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第1四半期連結累計期間においては、不動産事業者向けの非対面決済サービス「H'OURS（アワーズ）」が、前年と比較して利用件数が増加いたしました。一方、金融機関向けにおいては、ネット系銀行からの受注は堅調に推移したものの、全体の受注件数は伸び悩みました。

以上の結果、セグメント売上高は247,163千円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は189,107千円（前年同期比4.1%減）となりました。

(BPO事業)

BPO事業においては、金融機関における住宅ローン融資に係る業務受託をはじめ、事務合理化等、コスト節減ニーズに応じたサービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社中央グループでは、建築・開発設計サービスや不動産鑑定サービス、専門家への業務支援や建設事業者向け各種コンサルティングサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、金融機関向けの業務受託サービス等は堅調に推移したものの、前期に計上した定期的に受託する大量処理業務の売上の影響により、売上高は前年同期比で減少となりました。

以上の結果、セグメント売上高は471,049千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は104,388千円（前年同期比2.3%増）となりました。

(不動産オークション事業)

不動産オークション事業においては、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託にて、主に税理士等の専門家からの相談に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産取引の機会の場を提供しております。これにより売買後のトラブルや紛争を未然に回避することができるほか、取引価格については入札方式を採用することによって透明性の高い価格形成が可能となり、不動産取引の効率性、利便性、安全性の向上に寄与しております。

当第1四半期連結累計期間においても、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業活動が制限されたことで案件進捗に遅れが生じ、オークションによる決済は低調な推移となりました。

以上の結果、セグメント売上高は67,467千円(前年同期比48.0%減)、セグメント利益は19,894千円(前年同期比53.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,062,037千円となり、前連結会計年度末と比較して242,662千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が152,451千円、売掛金が87,038千円減少したことによるものです。固定資産は513,469千円となり、前連結会計年度末と比較して2,469千円の減少となりました。

以上の結果、総資産は3,575,507千円となり、前連結会計年度末と比較して245,131千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は361,132千円となり、前連結会計年度末と比較して174,106千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が109,861千円減少したことによるものであります。固定負債は138,103千円となり、前連結会計年度末と比較して7,714千円の増加となりました。

以上の結果、負債合計は499,235千円となり、前連結会計年度末と比較して166,391千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,076,271千円となり、前連結会計年度末と比較して78,739千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が94,514千円であった一方、剰余金の配当が173,348千円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は86.0%(前連結会計年度末は82.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月9日の「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826,581	2,674,130
売掛金	395,439	308,400
その他	84,352	80,493
貸倒引当金	△1,673	△986
流動資産合計	3,304,699	3,062,037
固定資産		
有形固定資産	84,725	84,052
無形固定資産	149,925	159,845
投資その他の資産	281,288	269,572
固定資産合計	515,939	513,469
資産合計	3,820,638	3,575,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,136	79,931
未払法人税等	138,226	28,364
賞与引当金	49,998	23,773
その他	251,877	229,063
流動負債合計	535,239	361,132
固定負債		
資産除去債務	34,665	34,665
退職給付に係る負債	36,046	36,046
その他	59,677	67,391
固定負債合計	130,388	138,103
負債合計	665,627	499,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,065	647,065
資本剰余金	761,905	761,905
利益剰余金	2,267,736	2,188,901
自己株式	△548,271	△548,271
株主資本合計	3,128,436	3,049,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,574	26,669
その他の包括利益累計額合計	26,574	26,669
純資産合計	3,155,011	3,076,271
負債純資産合計	3,820,638	3,575,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	868,325	785,681
売上原価	448,103	398,273
売上総利益	420,221	387,408
販売費及び一般管理費	242,729	246,201
営業利益	177,492	141,207
営業外収益		
受取利息	4	3
受取賃貸料	3,780	3,980
その他	1,595	2,637
営業外収益合計	5,379	6,620
営業外費用		
支払利息	46	35
賃貸費用	3,331	3,366
その他	606	16
営業外費用合計	3,983	3,418
経常利益	178,888	144,409
税金等調整前四半期純利益	178,888	144,409
法人税、住民税及び事業税	46,642	33,108
法人税等調整額	17,559	16,785
法人税等合計	64,201	49,894
四半期純利益	114,687	94,514
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,687	94,514

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	114,687	94,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△360	94
その他の包括利益合計	△360	94
四半期包括利益	114,327	94,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,327	94,608
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オー クション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	249,532	489,025	129,766	868,325	—	868,325
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	249,532	489,025	129,766	868,325	—	868,325
セグメント利益	197,192	101,998	42,621	341,812	△164,319	177,492

- (注) 1. セグメント利益の調整額△164,319千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エスクロー サービス	BPO	不動産オー クション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	247,163	471,049	67,467	785,681	—	785,681
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	247,163	471,049	67,467	785,681	—	785,681
セグメント利益	189,107	104,388	19,894	313,390	△172,183	141,207

- (注) 1. セグメント利益の調整額△172,183千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。